



新5ドル紙幣
より高い安全性、より高度な技術、
より優れた偽造防止対策。



データ表

お金に関する豆知識

紙幣はここから始まる:1862年2月より、肖像画を含む紙幣のデザインは財務省長官の責務とされてきました。現財務省長官・ヘンリー・M・ポールソンJr.によって承認された新しいデザインの5ドル紙幣は、2008年3月13日に流通を開始しています。

寿命:5ドル紙幣の「平均寿命」は流通を開始してから16ヶ月とされています。傷んだお札は新しいものと交換されます。

5ドル札の数:米国造幣局が現在造幣している紙幣の約9%は5ドル札です。5ドル札の肖像画:アメリカ合衆国の現行の5ドル紙幣には、表面にはエイブラハム・リンカーン大統領の肖像画が、裏面にはリンカーン記念館が印刷されています。これまでの5ドル札には、アレクサンダー・ハミルトン(1862)、アンドリュー・ジャクソン(1869)、ユリシーズ・S・グラント(1886)が印刷されていました。

エイブラハム・リンカーン大統領と検察局:リンカーンが大統領に就任していた時代、米国通貨の3分の1以上は偽札でした。大統領は大きく広まった偽札問題に対処するため、当時の出納官のアドバイスを受けて委員会を設立しました。同委員会は米国秘密検索局として知られました。当初は米国通貨の信頼性を守ることを目的としていましたが、今日では国土安全保障省の一部局となっています。

第5地区:リッチモンド連邦準備銀行は連邦準備制度の第5地区(メリーランド州、ワシントン市、バージニア州、ノースカロライナ州、サウスカロライナ州、ウェストバージニア州の大部分を含む)の本部です。第5地区内には、ノースカロライナ州シャーロット、メリーランド州ボルティモアに支部があります。

フィン?:5ドル札は、しばしば「フィン(=ヒレ)」と呼ばれました。ドイツ語/イディッシュ語を語源とするこの単語は、英語の「ファイブ」と遠い関係があるとされていますが、19世紀末や20世紀初頭とは異なり、今日ではあまり呼ばれなくなっています。

死後の肖像のみ:紙幣には存命中の人の肖像画を載せてはいけないと、1886年より米国法によって定められています。

持続する権力:米国紙幣には1929年から同じ歴史的人物が描かれ続けています。



新5ドル紙幣

より高い安全性、より高度な技術、
より優れた偽造防止対策。



データ表

名前の由来は?:南北戦争の費用の捻出のため、米国政府が1861年に発行した緑色の無利子証券の約束手形は、その色から「みどり紙幣(グリーン・バック)」というあだ名が付けられました。

続く価値:1861年以降にアメリカ合衆国政府によって発行された紙幣は、すべて合法なものとして使うことができ、額面どおりの価値があります。アメリカ合衆国政府が自国の通貨を切り下げたことは一度もありません。

女性の肖像画:マーサ・ワシントン(Martha Washington)は、米国紙幣の肖像画として描かれた唯一の女性です。彼女の肖像画は、1886年、1891年、1896年に発行された1ドル銀証券に描かれています。

一番高いお札:造幣局によって発行された最も高額な紙幣は、1934年シリーズの10万ドル金証券です。この紙幣は一般の市場には出回らず、連邦準備銀行と財務省間の取引でのみ使用されました。

「In God We Trust(神への信頼)」:この一文が初めて米国貨幣に採用されたのは、1864年のことでした。約1世紀を経て、議会はこれを公式の国家のモットーとし、今日では米国の貨幣と紙幣の両方にこの文を記載することが法によって定められています。このモットーの使用については、数年に渡って何度もその是非が裁判所で争われてきましたが、最近では1977年の最高裁判所など数々の裁判所で幾度となく支持を受けてきました。

紙幣の再利用:市場に流通した紙幣の一部は、連邦準備制度によって回収され、事務用品として再生されています。

署名の苦しみ!:1861年に米国政府が最初に紙幣を発行した際、すべての約束手形には財務省登録局の代表らと財務官の手によって1枚1枚署名が行われました。これが非実用的な行為であることから、紙幣への署名の印刷を議会に承認させるという制度が生まれました。この決定は1862年発行の米国紙幣の最初のシリーズから採用されました。

「1」は最も孤立した数字ではない:最も多く発行されているのは、1ドル札です(1ドル札は造幣局が造幣する通貨全体の45パーセントを占めます)。



新5ドル紙幣

より高い安全性、より高度な技術、
より優れた偽造防止対策。



データ表

巨大な「お金ベルト」:米国紙幣は1年間に80億枚が発行されています。これは地球の赤道を30周以上するのに十分な数です。

1マイルの高さのお金:紙幣を1マイルの高さの山に積み上げようとする、1450万枚分の紙幣が必要になります。

ところ変われば品変わる:国内で最もよく使われている紙幣は1ドル札と20ドル札ですが、海外で一番使用されているのは100ドル札です。

ポンドあたり…:額面に関係なく、紙幣のおおよその重さは1グラムです。1ポンドは454グラムですので、1ポンド分の紙幣は454枚の紙幣に相当します。

赤、白、青:自然な色合いの米国紙幣は、25パーセントの亜麻と75パーセントの綿でできており、様々な長さの赤と青の合成樹脂で、紙幣は均等に染められています。

丈夫!:米国紙幣は二つ折りを4000回以上繰り返さないと破れません。